

# 全国板金業国民健康保険組合

## 第32回 臨時組合会

S 60. 7. 18. 於 板金会館



愛知県 板金工業組合

名古屋市昭和区  
北山町 3-8-6  
電話 732-1226  
発行 広報委員会

板金国保組合は、午後一時より、全国各県板担当議員、四十名が出席して開催された。冒頭、挨拶に立った若林理事長は「健保法改正に連なり、組合員一割負担を導入せざるを得ない等、大きな変動のあった五九年度もようやく終了し、決算等を審議願いたい。決算では予定以上の剰余金を残すことが出来たが、被保険者の減少等の問題も残している。組合員ともども一致協力して事に当たりたい。旨の挨拶をした。続いて議長を選任し、議事に入る。

議長は本日の出欠状況を報告し、会議が成立する旨を告げた。

### 第一号議案

昭和五十九年度事業報告並びに収支決算の承認を求める件

議長より指名を受けた若林理事長は、昭和五十九年度事業及び決算の概況について報告を行い、「健保法改正

に伴ない、組合員一割負担を五十九年十二月一日より実施せざるを得なくなり、被保険者数の減少傾向が生じているが、医療費に対する影響は予想以上に大きく、十二月以降で一人当たり額一〇・五%も下廻った。この結果、決算も中間で予想した以上の剰余金を得たので、剰余金処分についても、来年度への備えをしておきたいと考えている。」と述べた。

続いて小出専務理事は、議案書に基づき、①庶務事項 ②被保険者数 ③保険料収入 ④医療費及び付加給付の状況 ⑤補助金の収納状況 ⑥保健施設事業 ⑦趣旨普及事業について詳細な報告を行うとともに、十二月現在での決算見込と決算との約九、二〇〇万円の剰余金増の説明として、比較表を示し、組合員一割負担導入による予想外の医療費ダウンが主な原因であると述べた。

続いて齊藤会計理事に決算報告を行うよう求めた。昭和五十九年度収入支出決算概要書を基に、収入総額四億七千九百九十七円、支出総額四億二千三百五十二円、差引残額三億四億八千二百五十九円。ただし、このうち前年度からの繰越金が三億四億三千六百八十七円あるので差引三億七千八百七十七円が単年度の正味残額となると説明した。

この後、前砂総務課長が昭和五十九年度収入支出事項別明細書を詳細に亘り説明し、議長は桑山監事に監査報告を求めた。

これを受けた桑山監事は、「去る七月十一日に監事三人により監査を行った結果、事務処理は適切に行われており、その内容は適正なものであると認められた。」旨報告を行った。

議長は、第一号議案

### 鉄骨建築に…

# 富士波ラスシート

東邦シートシステム

名古屋営業所 富582-0441

答：（事務局）  
現時点では、多少の差をあげられていることは事実であり、有効な説明材料に苦慮しているが、今後十分対抗策等を考えていきたい。

問：錦織氏（宮城）  
国庫補助金の算出方法について説明してほしい。

答：（事務局）  
昨年十月からの

新方式は、概略（療養の給付費、療養費の費用額）×75%×47100で計算され、医療費用額の約35%、36%相当となり、この額は大旨療養の給付費の約45%程度になる。

以上の質疑応答の後、議長は第一号議案を諮ったところ満場異議なく原案どおり可決承認された。

### 第二号議案

昭和五十九年度剰余金処分に関する件

指名を受けた若林理事長は、本年度剰余金三億四億八千二百五十九円の処分について、「組合員一割負担導入に踏み切った結果、予想以上に多くの剰余金を得ることが出来たわけだが、被保険者の減少傾向等も考慮に入れ、来年度の保険料は据え置きたいと考えるので、三億一〇〇万五千九百四十九円を六〇年度へ繰越し、残りを特別積立金に一九〇〇万円、給付費等支払準備金に九〇〇万円、退職積立金に二八〇万円をそれぞれ積立たい。」旨述べた。

議長は、これを議場に諮ったところ満場異

承認された。以上が当日の会議内容のあらましです。決算の数字については全板新聞にてお目通し下さい。

私達の全板国保は、板金業者だけの国保組合です。その意味においても本場の助け合いであると思います。引いては、愛板五十九年度の決算書でも、おわかりの様に、還付金及び手数料にて組合運営に大きく寄与して居るのが現状であります。組合員各位も、色々事情はあるかと思いますが、相互扶助の精神にのっとり、一人でも多くの方が、全板国保労災保険に加入していただければ、もっと充実した組合活動が出来ると思いますので、これを機会に、組合員全員が加入されん事を切望いたします。

厚生委員長  
磯崎欽伍





### 建設業認可手続について

#### 県板事務局

建設省の方針に基づいて建設業の下請業者は「建設業許可」の知事認可を必要とするところが厳しく言われる様になった。昨今、この件について『愛板』一月号でも述べましたが、個人・法人に拘らず、

一工事に付き三〇〇万円の工事を請け負った場合は「建設業許可」を受けなければならぬ。法律になっていないが、元請業者は「許可」のない下請業者に工事を依頼出来ない事になっていますが、しかしながら現実には従来の緩和された規制のまゝ、工事に従事している下請業者もありません。

事業主に対して「許可」を受けて頂きたく提言する次第です。組合事務局では今年度から「許可申請」の代行事務を取り扱う事になりました。申請に必要な手数料は専門業者より、かなり安く別表①の通りです。新規加入・更新どちらでも事務を扱いますので是非組合に委託されます様ご案内致します。

事務局 藤原

### 別表① 認可申請手数料

個人企業 (青色申告者)		個人企業 (白色申告者)	
新規	87,000-	新規	40,000-
更新	17,000-	更新	18,000-
変更	9,000-	変更	10,000-
(証紙代は別)		(証紙代は別)	
法人企業		証紙代	
新規	48,000-	新規	50,000-
更新	19,000-	更新	20,000-
変更	11,000-	(個人、法人に係りなし)	
(証紙代は別)			

### 別表② 事業主が揃える書類

個人		法人	
1. 工事経歴書	申請直前8年間の主たる工事明細	1. 工事経歴書	個人と同じ
2. 工事施工金額表	1月1日～12月31日までの過去3ヶ年	2. 工事施工金額表	〃
3. 使用人数表	建設業に従事している職員	3. 使用人数表	〃
4. 貸借対当表	申請直前1年の納税証明書	4. 株主調	
5. 損益計算書	〃	5. 定業	
6. 営業沿革		6. 業沿革	
7. 主要取引金融機関		7. 損益処分計算書	
8. 住民票		8. 損益処	
9. 住宅付近見取図		9. 商業登記簿	

### ダクト講習

#### 受講の勧め

指導委員長 外山 章

何時しかお盆も過ぎて残暑厳しい折柄何がお過しでしょうか。皆様方には毎日くたくたに忙しく厳しい経済、社会情勢を乗り切る為にお励みの事と察し申し上げます。今回、全板連では、厳しい経済、社会情勢を克服する為、多角経営的趣向を取り入れ、事業の一層の拡大、充実に計り雨の日、風の日にかつて作業がでるダクト工事の安定に取り入れ経営の安定を計り板金業界の発展に貢献できる様「厨房用ダクトの施工」を刊行しました。これの普及のため、地域毎にトレーナーの講習があり理事長ほか数名が受講しました。愛知県も早速準備して指導委員会、厨房委員会合同でダクト講習を実施します。各支部長あてご通知しますのでよろしくお願致します。

鉄鋼・建材・機械

**TKK 武豊屋株式会社**

本社 半田市港町3-100 TEL.(0569)21-5351(代)  
 名古屋営業所 名古屋市中区丸野2-55 TEL.(052)502-7331(代)  
 総合センター 半田市港町3-100 TEL.(0569)21-5351(代)



## 雨樋受金具専門店

ステンレス軒とい受、樹脂でんでん(ワンタッチ)

各種サイズあり、お問い合わせはセンター迄

ペリカン西濃販売センター 岐阜県本巣郡巣南町十七条 46 ☎058328-2871

# 問屋親睦会シリーズ

(5)

東三支部

マルサン金属建材Ⅱ

マルサン金属建材Ⅱ

招待で、六月八日夜立一泊二日、未来との出会い、筑波博、水戸偕楽園へ行って来ました。P.M.9時出発、一路筑波へ走らせました。二階建バスは、始めて乗る人が多く、皆んな二階に席をとり、下は、12名位しか座る場所がなく、仕事でつかれて寝る人、下でお酒を飲む人、カラオケを歌いながら行くうちに、夜も更け、皆んな眠りに

着きました。

二日目、梅雨空の中、A.M.7時、ドライブレインで朝食をして、筑波博会場入口に着きました。9時開門となり入って行き、それぞれのパビリオンへ入って行きました。宇宙への旅とか、ロボットの曲芸、パソコンの発達、それはすばらしいものばかりでした。それぞれ昼食をとりながら、一部館で、裏口から入るなど、小雨降る中見てま

わりました。P.M.3時に会場出て、一路ホテルの方へ約一時間半程大洗まで走らせ、車中では、会場の思い出話をししながらホテルに着きました。太平洋が展望できる見晴しの良い所でした。昨夜のつかれと、会場のつかれをほぐしながら、宴会もそこそこに休みました。

三日目は、A.M.8時半出発、水戸の偕楽園で9時から10時まで、うめ所、徳川の屋敷を見学して、一路豊橋へ途中で昼食をとり、車中カラオケを歌ったりP.M.7時過ぎ、皆んな元気に帰途、大変つかれる長旅でしたが、とても楽しい旅行でし

た。問屋さん、どうも有難度う御座居ました。

東三支部  
脇坂美治

## 支部だより

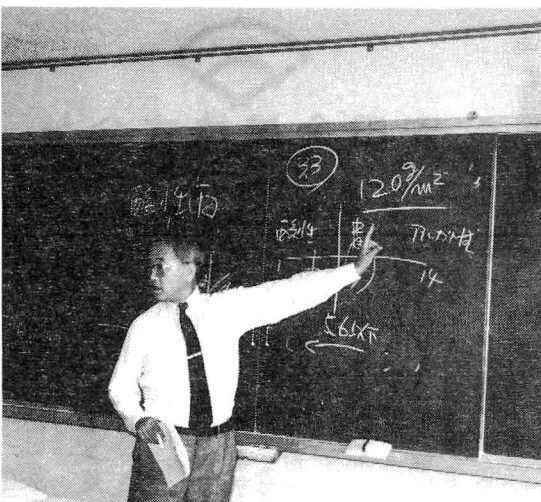
### 知多支部 研修会開催



盛夏と言うべきか、毎日暑い日が続く今日この頃会員の諸氏は如何か作業面に於いては汗びっしょり、室内ではクーラーに頼る程度日の暑さ、しかし乍ら私達は指をくわえている訳にはいかない。そこで当支部は研修会を開催した。社会に遅れない様、又技術の変化に対応出来る様に研究と研磨に励まなければならぬ今日、又とない「チャンス」全般企画の中に取り入れられてる行事の一端、愛板を通じての開催。

「主題はガリバニウム鋼板について」  
研究開発からのルーツ、現在のとりまく環境にどの様に吸収したら良いか、非常に中味の濃い研修会となった。講師には大同鋼板の専門分野の方々が

あった。時は八月一日



午後一時より約四時間にわたったの長時間、詳細については愛板誌第一八三号にて紹介させて頂いたものと内容が重複するので省略させて頂く。

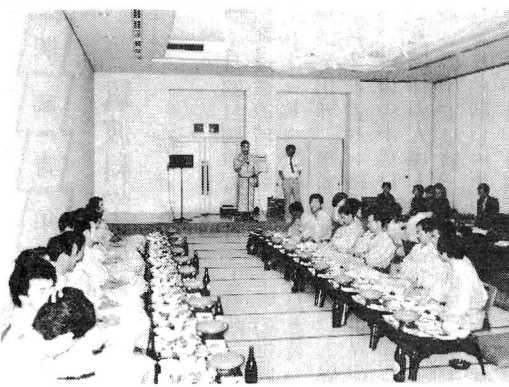
其の後引続いて「アールミット(工業用半田付)の説明及実演が催され特に会員の感心がい様、又技術の変化に対応出来る様に研究と研磨に励まなければならぬ今日、又とない「チャンス」全般企画の中に取り入れられてる行事の一端、愛板を通じての開催。



深かった様に思う。活発な質問も出され和気あいあいの内に全日程を終了した。「役員会開催」  
其の後引続いて役員会が催され今後の事業計画の検討と反省の討議に移り、尚事業計画として会員相互の理解を密にと日帰りバス旅行を計画が打ち出され、来る十月下旬の予定になる見込み。日時は追って支部より連絡させていただきますので是非大勢の方々の参加を希望します。最後になりましたが今回の研修会を開催するに当り色々お骨折を頂いた武豊屋柳青木社長に對し心から厚くお礼申し上げます。



知多 沼澤





岡崎青年部

筑波科学博・

デイズニールランド旅行

7月22日岡崎板金青年部は筑波博、デイズニールランドへ向け観光バスで出発、東名岡崎インターより一路東京へ。部員の中には子供さん同伴の人達もあり、バスの中では皆、ひさしぶりに話しに花がさき、あつというまに、デイズニールへ到着。

入場するやいなや、オオカミとブタのお出ました。子供達はさつそく、だかれたり握手をしたり、そしてどんどん中へ入っていく。正面には青い屋根の高いお城がある。大人でもこれを見ただけで心がおどるにちがいない。

天候もややくもりで風がとても気持ちが良い。ジャングル有り、汽車、蒸気船、海賊お化けの城、ピノキオ、メリーゴランド、各ショーなどもっとく見たい乗りたい。一言では表現できない。これぞまさに百聞は一見にしかず。

私達の一行は、「夢

と魔法の王国デイズニールの世界を100%満喫したと言っても過言ではないと思う。

全世界の化学、夢をつめこんだ筑波博、デイズニール、これを自分の目の前で見た私達は大変幸せな人間の一人ではなかったのではなからうか。

最後にこの企画を実行し成功させた沢田副部長、名文句の案内を製作した山本副部長、そして青年部一同参加者の皆さんほんとうに有がとう。



大容量の電気を使っている某大工場の責任者は、受電側の電路は開いておくのは当然だが、万一を考え供給する工場側の電路もまた全部開いて、電氣的には変電施設を完全に孤立させたのち、十数名に作業をさせていました。

ところが何気なく見た工場内の事務所には何と蛍光灯がついていてはありました。

この工場は現在自分達が作業をしている変電施設から遠ざけ、手分けして工場内を調べると、発電機を廻し、機械の試運転をしている人を発見しました。

変圧器は電圧を降下又は上昇させる設備です。また、もしこの場合工場側の電路を閉じたままにしていれば、作業者は何万ボルトにも昇圧した電撃を受けることでした。

変圧器の二次側から

一口安全メモ

一次方面に、逆に電流が流れたために昇圧して災害が発生した例に、停電させた需要家側の電路は閉じたままにして配電線の停電作業中、突然需要家側から逆送電され電撃傷を受けた人がいました。

驚いて調べてみると、当日停電になることを知らされていたその需要家側では、リースした発電機を回したからたまりません。

昇圧した電流が配電線側に逆送電されたのでした。これなどまさに「まさか、やっぱり」、逆方向に送電されることなどは絶対にない、などと考えていても、この二例のように意外な場合もまたあることを忘れてはなりません。

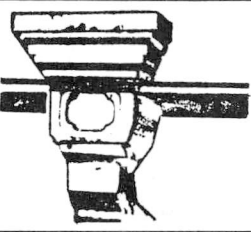
だからこそ常に危険を予知し、その危険を防ぐためには二重三重念には念を入れて処置しておくことの大切さはここにあるのです。

はここに

安全対策は二重三重

安田金属株式会社 静岡支店 静岡市中島742番地 電話静岡0542(83)4088(代)

全日本板金工業組合連合会指定商品 カラー組立雨樋 長尺銅製雨樋鳳凰



「覚王山日泰寺」 銅屋根本瓦葺研修レポート 申し込み受付

愛知県板金工業組合青年部は、昭和58年、覚王山日泰寺の銅屋根工事の現場で研修会を行ない調査研修レポートを作成した。全国の青年部員からの要望もあり増刷することになり、組合員の方々にもお頒け致しますので各支部でまとめ下されば幸いです。

編集後記

山柿や 五六顆おもき 枝の先 (蛇笏) 戦後四十年。今年も厳しい暑さの中で八月十五日を迎えた。四十年前、私は国民学校(現小学校)の五年生だった。この日がめぐり来るたびに、「ほしがりません勝つまでは」と子供心ながら戦争に一生懸命だった当時を思い出すのである。あれから四十年、廃墟から復興し、今では世界一、二の富める国となった。しかし三百余万人の

戦争犠牲者を出し、何倍、何十倍の人々を悲しみ、苦しめた、あのいまわしい過去を忘れかけているのではないだろうか。憲法違反ではないとしゃにむに、こじつけ正当化した、閣僚の靖国神社参拝、防衛費、GNP比一%枠の見直など、政府の政治施政が気になる昨今である二度とあの悲惨な戦争行為をしてはならない。そしてタカ派的な政治の動向を、注意深く見守りつづけてゆかなければならない。 八月二十八日(水)晴 一八八号編集会議 委員七名出席 午後五時終了